

『“かに”に関するアンケート』の結果等及び今後の対応

平成27年12月16日

担当課	水産課
担当者	丹下、志村、有間
連絡先	0857-26-7316

1 アンケート結果を反映した事業の状況

松葉がに漁が終了後、アンケート結果を踏まえた対策を検討する。

2 記述意見に対する対応方針

主な意見	対応方針
五輝星の品質を維持していくことが大事	<ul style="list-style-type: none">・漁期終了（H28.3.20）後の事後分析、評価、目利き人の反省会・生産者及び仲買業者等への聞き取り ⇒次期漁期に向けての基準、運用方法の改善等
五輝星のブランド化のインパクトに対する高評価	<ul style="list-style-type: none">・五輝星初競りイベント、トップセールス等を引き続き実施、強化。
カニの食べ方を知らない人が多い	<ul style="list-style-type: none">・贈答用かにに添付する食べ方を示したリーフレット（食べ方動画のQRコードも記載）作成・食べ方（茹で方、身の外し方、身のむき方など）動画の作成
スーパー、魚市場/直売店でカニを購入する人が多く、松葉がにより親ガニをよく食べる傾向がある 大消費地への積極的な発信と併せて県民への周知も必要という意見が多い 都市圏ばかりでなく県民がもっと分かりやすく、求めやすくして愛されるブランドづくりをして欲しい	県民がスーパーでお手軽に買える親ガニをさらに消費拡大し、県外にもPRできる親ガニに特化した取組の検討を行う

担当課	食のみやこ推進課
担当者	前田
連絡先	0857-26-7853

1 アンケート結果を反映した事業の状況

今秋から一定の基準をみたした最高級の松葉がにを特選とっとり松葉がに五輝星（いつきぼし）と命名し、PRを実施してきたが、75%の方が特選とっとり松葉がに五輝星を「知っている」と回答。65.8%の方が名称について「良い」と回答されたことから、ブランドが認知され、その名称もおおむね受け入れられていると考える。鳥取県産魚PR推進協議会にアンケート結果を伝えるとともに、今後も関係者と連携しながらPRに努めることとする。

2 記述意見に対する対応方針

主な意見	対応方針
五輝星の名前について、振り仮名がないと分からない	広報時には、「五輝星」に「いつきぼし」と振り仮名をつけることとしているが、今後も名称が定着するよう取組んでいきたい。
五輝星がカニであると連想できない。ぴんとこない	「特選とっとり松葉がに五輝星」が正式名称であるので、名称が定着するよう引き続きPRに取組んでいきたい。

担当課	観光戦略課
担当者	中原
連絡先	0857-26-7237

1 アンケート結果を反映した事業の状況

平成26年からウェルカニキャンペーンを実施し、3/4以上の方が蟹取県へ改名した観光キャンペーンを認知していることから一定の効果があったと思料。来年度以降も継続して「蟹の水揚量・消費量日本一」「蟹取県」「ウェルカニ」等のキーワードを切り口にキャンペーンを展開し、県内外からの観光誘客に努める。（ウェルカニキャンペーンに係る経費をH28当初予算要求中）

2 記述意見に対する対応方針

主な意見	対応方針
かに料理のおいしい店を雑誌などでどんどん紹介して鳥取県に観光客を呼べるよう宣伝してほしい。	蟹料理を提供する店、宿泊施設などを紹介する「鳥取のカニ」に特化した冊子を作成するなど、各種メディアで採り上げられるよう情報発信に努める。
カニという特産品をキーワードの一つとして全国及び海外に向けて発信して観光キャンペーンを繰り広げていこうという試みを大いに広げていただきたい。	ウェルカニキャンペーンは今年度で2年目となるが、スタートとなるキックオフイベントは情報集積地である東京で実施することにより、各種メディアで全国的に採り上げていただいている。 また、各種メディアを活用した情報発信やイベント、旅行会社への旅行商品造成の働きかけを行うことに加えて、フォトコンテンツや動画・観光冊子作成など期間を通じてキャンペーンを盛り上げるような取り組みを行っているところ。 さらに、海外においても鳥取県へのファムツアー参加者に対するPRを行っている。 「カニといえば蟹（鳥）取県」と言っていただけのように、引き続き情報発信に努めていきたい。
水揚量、消費量1位であることをもっとアピールした方がよい。	既に「カニ水揚量・消費量日本一」等をキーワードとした情報発信を行っているが、さらに認知度が向上するよう引き続き取り組んでまいりたい。
関西地方では兵庫県但馬地方（浜坂、柴山、城崎など）の方が知名度が高い。アピール（営業活動）が必要と思う。	関西に対しては、新聞社とタイアップした「蟹取県へウェルカニ！ in 大阪京橋」などのイベントをはじめ、テレビ（朝日放送「おはよう朝日です」、毎日放送「ちちんぷいぷい」等）や新聞による情報発信を行っている。また、旅行会社に対しても商品造成を働きかけており、既にツアーが造成されている事例もある（JTB、日本旅行等）。今後も継続して各種メディアへ働きかけを行いたい。
観光キャンペーンはいずれも聞いたことがない。県外向けはもちろんだが、県民にもっと周知が必要。	カニフェスタ等のイベントや新聞広告等により県民向けのPRは行っており、事業者の中にはカニキャップ着用による接客やイベント展開や独自の割引サービスなど自主的な取り組みを行っている例もある。今後も県外に限らず県内に対しても引き続き情報発信に努めたい。